

令和3年7月20日（火）

照会先

医政局地域医療計画課

災害医療対策専門官 牧野 紘至（2558）

災害医療係長 乙部 睦男（2548）

（代表番号） 03-(5253)-1111

（直通番号） 03-(3595)-2194

報道関係者各位

病院の耐震改修状況調査の結果

～令和2年の災害拠点病院等の耐震化率は93.6%～

令和2年における病院の耐震改修状況調査の結果をとりまとめましたので、公表いたします。

【令和2年調査結果のポイント】

- 病院の耐震化率は、77.3%（令和元年調査では76.0%）
- このうち、地震発生時の医療拠点となる災害拠点病院及び救命救急センターの耐震化率は、93.6%（令和元年調査では92.4%）

（参考）

- ・ 国土強靱化アクションプラン2015（平成27年6月16日国土強靱化推進本部決定）において平成30年度までに災害拠点病院及び救命救急センターの耐震化率を89.0%とすることを定めていた目標は、平成29年度までに達成しました。
- ・ 「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」（平成30年12月14日閣議決定）において、令和2年度末までに病院全体の耐震化率を80%とする目標を定めています。
- ・ 調査結果は、令和2年10月に各都道府県に対して調査の依頼を行い、各都道府県からの報告に基づき、病院の耐震化の状況を取りまとめています。

- ・ 調査対象：医療法第1条の5に規定する病院
- ・ 調査時点：令和2年9月1日
- ・ 調査結果：「別紙」のとおり

(1) 病院の耐震化の状況

調査病院数	回答病院数	全ての建物に耐震性のある病院数 (A)	一部の建物に耐震性がある病院数 (B)	全ての建物に耐震性が無い(注1)病院数 (C)	建物の耐震性が不明である病院数(耐震診断を実施していない病院数) (D)	(B)と(C)のうち、Is値0.3(注2)未満の建物を有する病院数	(B)、(C)及び(D)のうち、令和2年度までに全ての建物が耐震化される予定の病院数
8255	8254	6382	619	100	1153	245	16

(注1) 耐震性がない建物とは、昭和56年以前に建築された建物であって耐震診断の結果Is値0.6未満(震度6強程度の地震により倒壊又は崩壊する危険性がある。)の建物をいう。

(注2) Is値0.3未満の建物は、震度6強程度の地震により倒壊又は崩壊する危険性が高いとされている。

(2) 災害拠点病院及び救命救急センターの耐震化の状況

調査病院数	回答病院数	全ての建物に耐震性のある病院数 (A)	一部の建物に耐震性がある病院数 (B)	全ての建物に耐震性が無い病院数 (C)	建物の耐震性が不明である病院数(耐震診断を実施していない病院数) (D)	(B)と(C)のうち、Is値0.3未満の建物を有する病院数	(B)、(C)及び(D)のうち、令和2年度までに全ての建物が耐震化される予定の病院数
763	763	714	47	0	2	24	1

(3) 都道府県別の病院の耐震化の状況

「別紙」

	都道府県	調査病院数	回答病院数	全ての建物に耐震性がある病院数 (A)	一部の建物に耐震性がある病院数 (B)	全ての建物に耐震性がない病院数 (C)	建物の耐震性が不明である病院数(耐震診断を実施していない病院数)(D)	(B)と(C)のうち、Is値0.3未満の建物を有する病院数	(B)、(C)及び(D)のうち、令和2年度までに全ての建物が耐震化される予定の病院数(E)	耐震化率(A)／回答病院数	令和2年度末の耐震化率(見込)(A)+(E)／回答病院数
1	北海道	549	549	424	24	4	97	11	1	77.2%	77.4%
2	青森	94	94	76	5	1	12	4	0	80.9%	80.9%
3	岩手	92	92	70	7	2	13	3	0	76.1%	76.1%
4	宮城	136	136	122	3	0	11	0	0	89.7%	89.7%
5	秋田	66	66	53	2	1	10	0	0	80.3%	80.3%
6	山形	67	67	60	2	0	5	2	0	89.6%	89.6%
7	福島	132	132	92	15	3	22	5	0	69.7%	69.7%
8	茨城	174	174	140	6	1	27	1	0	80.5%	80.5%
9	栃木	105	105	80	8	1	16	2	0	76.2%	76.2%
10	群馬	128	128	109	2	1	16	1	0	85.2%	85.2%
11	埼玉	342	342	277	20	3	42	9	1	81.0%	81.3%
12	千葉	289	289	223	23	3	40	5	2	77.2%	77.9%
13	東京	640	640	500	79	29	32	36	0	78.1%	78.1%
14	神奈川	335	334	265	33	5	31	9	1	79.3%	79.6%
15	新潟	125	125	102	5	0	18	3	0	81.6%	81.6%
16	富山	106	106	94	5	0	7	2	0	88.7%	88.7%
17	石川	92	92	74	4	1	13	3	0	80.4%	80.4%
18	福井	67	67	56	3	0	8	0	0	83.6%	83.6%
19	山梨	60	60	51	3	0	6	2	0	85.0%	85.0%
20	長野	126	126	99	8	2	17	2	0	78.6%	78.6%
21	岐阜	97	97	72	12	1	12	5	0	74.2%	74.2%
22	静岡	171	171	157	10	0	4	2	0	91.8%	91.8%
23	愛知	321	321	251	28	4	38	7	0	78.2%	78.2%
24	三重	93	93	74	6	2	11	5	1	79.6%	80.6%
25	滋賀	57	57	51	5	0	1	0	0	89.5%	89.5%
26	京都	163	163	107	26	4	26	15	0	65.6%	65.6%
27	大阪	514	514	358	39	9	108	19	1	69.6%	69.8%
28	兵庫	347	347	266	27	0	54	13	0	76.7%	76.7%
29	奈良	76	76	63	8	0	5	4	0	82.9%	82.9%
30	和歌山	83	83	60	7	2	14	3	0	72.3%	72.3%
31	鳥取	43	43	36	1	0	6	1	0	83.7%	83.7%
32	島根	47	47	42	1	0	4	0	0	89.4%	89.4%
33	岡山	161	161	122	16	1	22	6	0	75.8%	75.8%
34	広島	237	237	171	19	2	45	9	0	72.2%	72.2%
35	山口	142	142	99	14	0	29	7	0	69.7%	69.7%
36	徳島	107	107	81	9	1	16	3	1	75.7%	76.6%
37	香川	88	88	63	9	2	14	2	0	71.6%	71.6%
38	愛媛	134	134	101	12	4	17	8	1	75.4%	76.1%
39	高知	122	122	90	16	5	11	8	0	73.8%	73.8%
40	福岡	457	457	326	39	2	90	7	3	71.3%	72.0%
41	佐賀	100	100	74	6	0	20	0	1	74.0%	75.0%
42	長崎	148	148	110	12	2	24	8	1	74.3%	75.0%
43	熊本	208	208	149	17	0	42	6	1	71.6%	72.1%
44	大分	153	153	132	4	1	16	2	1	86.3%	86.9%
45	宮崎	137	137	111	2	0	24	1	0	81.0%	81.0%
46	鹿児島	234	234	175	11	1	47	1	0	74.8%	74.8%
47	沖縄	90	90	74	6	0	10	3	0	82.2%	82.2%
		8255	8254	6382	619	100	1153	245	16	77.3%	77.5%

(4) 都道府県別の災害拠点病院及び救命救急センターの耐震化の状況

「別紙」

	都道府県	調査病院数	回答病院数	全ての建物に耐震性がある病院数 (A)	一部の建物に耐震性がある病院数 (B)	全ての建物に耐震性がない病院数 (C)	建物の耐震性が不明である病院数 (耐震診断を実施していない病院数) (D)	(B)と(C)のうち、Is値0.3未満の建物を有する病院数	(B)、(C)及び(D)のうち、令和2年度までに全ての建物が耐震化される予定の病院数 (E)	耐震化率(A)／回答病院数	令和2年度末の耐震化率(見込) (A) + (E) / 回答病院数
1	北海道	34	34	33	1	0	0	0	0	97.1%	97.1%
2	青森	10	10	8	2	0	0	0	0	80.0%	80.0%
3	岩手	11	11	11	0	0	0	0	0	100.0%	100.0%
4	宮城	16	16	15	1	0	0	0	0	93.8%	93.8%
5	秋田	14	14	14	0	0	0	0	0	100.0%	100.0%
6	山形	7	7	7	0	0	0	0	0	100.0%	100.0%
7	福島	8	8	7	1	0	0	0	0	87.5%	87.5%
8	茨城	17	17	17	0	0	0	0	0	100.0%	100.0%
9	栃木	11	11	10	1	0	0	0	0	90.9%	90.9%
10	群馬	17	17	17	0	0	0	0	0	100.0%	100.0%
11	埼玉	22	22	21	1	0	0	1	0	95.5%	95.5%
12	千葉	26	26	24	2	0	0	1	1	92.3%	96.2%
13	東京	82	82	79	3	0	0	1	0	96.3%	96.3%
14	神奈川	36	36	32	4	0	0	3	0	88.9%	88.9%
15	新潟	14	14	13	0	0	1	0	0	92.9%	92.9%
16	富山	8	8	8	0	0	0	0	0	100.0%	100.0%
17	石川	10	10	10	0	0	0	0	0	100.0%	100.0%
18	福井	9	9	9	0	0	0	0	0	100.0%	100.0%
19	山梨	9	9	8	1	0	0	1	0	88.9%	88.9%
20	長野	13	13	13	0	0	0	0	0	100.0%	100.0%
21	岐阜	12	12	11	1	0	0	0	0	91.7%	91.7%
22	静岡	23	23	23	0	0	0	0	0	100.0%	100.0%
23	愛知	36	36	33	3	0	0	1	0	91.7%	91.7%
24	三重	17	17	16	1	0	0	1	0	94.1%	94.1%
25	滋賀	10	10	10	0	0	0	0	0	100.0%	100.0%
26	京都	14	14	12	2	0	0	0	0	85.7%	85.7%
27	大阪	19	19	15	4	0	0	3	0	78.9%	78.9%
28	兵庫	21	21	19	2	0	0	2	0	90.5%	90.5%
29	奈良	7	7	5	2	0	0	1	0	71.4%	71.4%
30	和歌山	10	10	10	0	0	0	0	0	100.0%	100.0%
31	鳥取	4	4	4	0	0	0	0	0	100.0%	100.0%
32	島根	10	10	10	0	0	0	0	0	100.0%	100.0%
33	岡山	11	11	9	2	0	0	2	0	81.8%	81.8%
34	広島	19	19	16	3	0	0	1	0	84.2%	84.2%
35	山口	14	14	12	2	0	0	2	0	85.7%	85.7%
36	徳島	11	11	11	0	0	0	0	0	100.0%	100.0%
37	香川	10	10	10	0	0	0	0	0	100.0%	100.0%
38	愛媛	8	8	7	1	0	0	1	0	87.5%	87.5%
39	高知	12	12	12	0	0	0	0	0	100.0%	100.0%
40	福岡	31	31	29	2	0	0	1	0	93.5%	93.5%
41	佐賀	8	8	7	1	0	0	0	0	87.5%	87.5%
42	長崎	14	14	14	0	0	0	0	0	100.0%	100.0%
43	熊本	15	15	12	2	0	1	1	0	80.0%	80.0%
44	大分	14	14	14	0	0	0	0	0	100.0%	100.0%
45	宮崎	12	12	12	0	0	0	0	0	100.0%	100.0%
46	鹿児島	14	14	14	0	0	0	0	0	100.0%	100.0%
47	沖縄	13	13	11	2	0	0	1	0	84.6%	84.6%
		763	763	714	47	0	2	24	1	93.6%	93.7%

<参考> 病院の耐震化状況の推移

病 院	回答病院数	全ての建物に耐震性のある病院数 (耐震化率)	一部の建物に耐震性がある病院数	全ての建物に耐震性がない病院数	建物の耐震性が不明である病院数
平成 17 年調査	6, 843 (100. 0%)	2, 494 (36. 4%)	2, 482 (36. 3%)	1, 209 (17. 7%)	575 (8. 4%)
平成 20 年調査	8, 130 (100. 0%)	4, 132 (50. 8%)	2, 694 (33. 1%)	1, 010 (12. 4%)	294 (3. 6%)
平成 21 年調査	8, 611 (100. 0%)	4, 837 (56. 2%)	2, 595 (30. 1%)	98 (1. 1%)	1, 081 (12. 6%)
平成 22 年調査	8, 541 (100. 0%)	4, 846 (56. 7%)	2, 541 (29. 8%)	279 (3. 3%)	875 (10. 2%)
平成 24 年調査	8, 531 (100. 0%)	5, 235 (61. 4%)	2, 016 (23. 6%)	268 (3. 1%)	1, 012 (11. 9%)
平成 25 年調査	8, 524 (100. 0%)	5, 476 (64. 2%)	771 (9. 1%)	118 (1. 4%)	2, 159 (25. 3%)
平成 26 年調査	8, 493 (100. 0%)	5, 687 (67. 0%)	729 (8. 6%)	122 (1. 4%)	1, 955 (23. 0%)
平成 27 年調査	8, 477 (100. 0%)	5, 880 (69. 4%)	719 (8. 5%)	131 (1. 5%)	1, 747 (20. 6%)
平成 28 年調査	8, 464 (100. 0%)	6, 050 (71. 5%)	704 (8. 3%)	141 (1. 7%)	1, 569 (18. 5%)
平成 29 年調査	8, 411 (100. 0%)	6, 130 (72. 9%)	674 (8. 0%)	141 (1. 7%)	1, 466 (17. 4%)

平成 30 年調査	8, 362 (100.0%)	6, 231 (74.5%)	664 (7.9%)	123 (1.5%)	1, 344 (16.1%)
令和元年調査	8, 311 (100.0%)	6, 318 (76.0%)	633 (7.6%)	113 (1.4%)	1, 247 (15.0%)
令和 2 年調査 (今回調査)	8, 254 (100.0%)	6, 382 (77.3%)	619 (7.5%)	100 (1.2%)	1, 153 (14.0%)

【病院のうち、災害拠点病院及び救命救急センター】	回答病院数	全ての建物に耐震性のある病院数 (耐震化率)	一部の建物に耐震性がある病院数	全ての建物に耐震性がない病院数	建物の耐震性が不明である病院数
平成 17 年調査	545 (100.0%)	236 (43.3%)	257 (47.2%)	45 (8.3%)	6 (1.1%)
平成 20 年調査	565 (100.0%)	331 (58.6%)	209 (37.0%)	22 (3.9%)	3 (0.5%)
平成 21 年調査	598 (100.0%)	373 (62.4%)	205 (34.3%)	7 (1.2%)	13 (2.1%)
平成 22 年調査	630 (100.0%)	417 (66.2%)	203 (32.2%)	7 (1.1%)	3 (0.5%)
平成 24 年調査	671 (100.0%)	490 (73.0%)	169 (25.2%)	3 (0.5%)	9 (1.3%)
平成 25 年調査	683 (100.0%)	538 (78.8%)	103 (15.1%)	3 (0.4%)	39 (5.7%)
平成 26 年調査	691 (100.0%)	568 (82.2%)	89 (12.9%)	5 (0.7%)	29 (4.2%)
平成 27 年調査	712 (100.0%)	604 (84.8%)	88 (12.4%)	1 (0.1%)	19 (2.7%)

平成 28 年調査	7 2 6 (1 0 0 . 0 %)	6 3 6 (8 7 . 6 %)	7 6 (1 0 . 5 %)	0 (0 %)	1 4 (1 . 9 %)
平成 29 年調査	7 3 4 (1 0 0 . 0 %)	6 5 6 (8 9 . 4 %)	6 6 (9 . 0 %)	0 (0 %)	1 2 (1 . 6 %)
平成 30 年調査	7 4 2 (1 0 0 . 0 %)	6 7 3 (9 0 . 7 %)	6 4 (8 . 6 %)	0 (0 %)	5 (0 . 7 %)
令和元年調査	7 4 9 (1 0 0 . 0 %)	6 9 2 (9 2 . 4 %)	5 3 (7 . 1 %)	0 (0 %)	4 (0 . 5 %)
令和 2 年調査 (今回調査)	7 6 3 (1 0 0 . 0 %)	7 1 4 (9 3 . 6 %)	4 7 (6 . 2 %)	0 (0 %)	2 (0 . 3 %)

(注 1) 平成 17 年調査は、四病院団体協議会・厚生労働科学研究班による調査

(注 2) 耐震化率は全ての建物に耐震性のある病院数を回答病院数で除したものの。

(注 3) 建築物の耐震改修の促進に関する法律が改正され、階数 3 かつ床面積 5,000 m²以上の病院は耐震診断を行うことが

義務化されたことを踏まえ、平成 25 年調査から、昭和 56 年以前（建築基準法改正前）に建築された建物で耐震診断

をしていない建物がある病院は、「耐震性が不明な病院」として整理している。